



ローム株式会社 2022年3月期 第2四半期決算概要

(2021年4月1日から2021年9月30日まで)

2021年10月28日

1. 連結業績

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

		22/3期実績		21/3期実績		対前年同期増減		21/3期実績	22/3期計画(注)1	
		第2四半期 累計期間	第2四半期 累計期間	額	率	通期	通期	対前期 増減率		
売上高	百万円	222,657	168,049	+54,608	+32.5%	359,888	440,000	+22.3%		
売上原価	百万円	146,577	115,882	+30,695	+26.5%	242,252	286,500			
販売費及び一般管理費	百万円	41,566	39,479	+2,087	+5.3%	79,146	90,500			
営業利益	百万円	34,513	12,687	+21,826	+172.0%	38,488	63,000	+63.7%		
		(15.5%)	(7.5%)	(+8.0%)		(10.7%)	(14.3%)			
経常利益	百万円	37,863	11,799	+26,064	+220.9%	40,672	66,000	+62.3%		
		(17.0%)	(7.0%)	(+10.0%)		(11.3%)	(15.0%)			
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	30,802	12,527	+18,275	+145.9%	37,002	51,000	+37.8%		
		(13.8%)	(7.5%)	(+6.3%)		(10.3%)	(11.6%)			
()内は売上高比率										
1株当たり四半期(当期)純利益	円	313.87	127.36	+186.51	+146.4%	376.24	519.68	+38.1%		
自己資本当期純利益率	%					5.0				
総資産当期純利益率	%					4.2				
1株当たり純資産	円	8,077.64	7,381.84	+695.80	+9.4%	7,835.49				
E B I T D A (注)2	百万円	53,432	32,048	+21,384	+66.7%	78,656	106,700	+35.7%		
設備投資額	百万円	27,279	11,929	+15,350	+128.7%	44,114	70,000	+58.7%		
減価償却額	百万円	18,918	19,360	-442	-2.3%	40,167	43,700	+8.8%		
研究開発費	百万円	17,510	15,996	+1,514	+9.5%	31,537	38,200	+21.1%		
為替差損益	百万円	(益) 2,066	(損) 2,669	(益) 4,735		(損) 1,062				
為替レート(US\$期中平均レート)	円/US\$	110.18	106.74	+3.44	+3.2%	106.20	110.10			

(注) 1. 計画値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

問合せ先 〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21番地 (075)311-2121
ローム株式会社 広報IR室

1. 連結業績(つづき)

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

			22/3期実績	21/3期実績	対前年同期増減		21/3期実績	22/3期計画		
			第2四半期 累計期間	第2四半期 累計期間	額	率	通期	通期	対前期 増減率	
セグメント別地域別売上高 (注)										
L	S	I	百万円	99,914	78,605	+21,309	+27.1%	168,103	198,867	+18.3%
	(国 内)			(38,327)	(35,282)	(+3,045)	(+8.6%)	(73,367)	(80,078)	(+9.1%)
	(ア ジ ア)			(53,959)	(36,861)	(+17,098)	(+46.4%)	(81,257)	(103,239)	(+27.1%)
	(ア メ リ カ)			(3,974)	(3,945)	(+29)	(+0.7%)	(7,408)	(8,587)	(+15.9%)
	(ヨ ー ロ ッ パ)			(3,653)	(2,516)	(+1,137)	(+45.2%)	(6,070)	(6,961)	(+14.7%)
半 導 体 素 子			百万円	93,232	65,432	+27,800	+42.5%	142,389	183,955	+29.2%
	(国 内)			(27,568)	(19,964)	(+7,604)	(+38.1%)	(44,399)	(57,063)	(+28.5%)
	(ア ジ ア)			(52,235)	(36,592)	(+15,643)	(+42.7%)	(77,654)	(98,480)	(+26.8%)
	(ア メ リ カ)			(4,667)	(3,214)	(+1,453)	(+45.2%)	(7,559)	(10,021)	(+32.6%)
	(ヨ ー ロ ッ パ)			(8,761)	(5,659)	(+3,102)	(+54.8%)	(12,775)	(18,389)	(+43.9%)
モ ジ ュ ー ル			百万円	15,684	15,126	+558	+3.7%	29,213	30,349	+3.9%
	(国 内)			(3,214)	(3,340)	(-126)	(-3.8%)	(6,677)	(7,900)	(+18.3%)
	(ア ジ ア)			(10,668)	(10,112)	(+556)	(+5.5%)	(19,259)	(18,873)	(-2.0%)
	(ア メ リ カ)			(552)	(669)	(-117)	(-17.5%)	(1,303)	(1,197)	(-8.1%)
	(ヨ ー ロ ッ パ)			(1,248)	(1,004)	(+244)	(+24.3%)	(1,972)	(2,377)	(+20.5%)
そ の 他			百万円	13,826	8,885	+4,941	+55.6%	20,181	26,828	+32.9%
	(国 内)			(2,231)	(1,466)	(+765)	(+52.2%)	(3,325)	(4,757)	(+43.0%)
	(ア ジ ア)			(9,133)	(5,915)	(+3,218)	(+54.4%)	(13,136)	(17,234)	(+31.2%)
	(ア メ リ カ)			(1,165)	(652)	(+513)	(+78.6%)	(1,644)	(2,328)	(+41.7%)
	(ヨ ー ロ ッ パ)			(1,295)	(851)	(+444)	(+52.1%)	(2,075)	(2,506)	(+20.8%)
合 計			百万円	222,657	168,049	+54,608	+32.5%	359,888	440,000	+22.3%
	(国 内)			(71,342)	(60,053)	(+11,289)	(+18.8%)	(127,770)	(149,799)	(+17.2%)
	(ア ジ ア)			(125,996)	(89,481)	(+36,515)	(+40.8%)	(191,308)	(237,828)	(+24.3%)
	(ア メ リ カ)			(10,359)	(8,481)	(+1,878)	(+22.1%)	(17,915)	(22,135)	(+23.6%)
	(ヨ ー ロ ッ パ)			(14,958)	(10,031)	(+4,927)	(+49.1%)	(22,893)	(30,236)	(+32.1%)

用途別売上構成比

民 生	%	31.3	34.2	-2.9	32.2
通 信	%	6.3	8.6	-2.3	7.7
自 動 車	%	36.0	31.9	+4.1	35.5
産 機	%	14.9	13.5	+1.4	13.3
事 務 機 ・ 電 算 機	%	11.5	11.8	-0.3	11.3

用途別の主な最終製品は次のとおりであります。

民 生	テレビ、ビデオカメラ、オーディオ、電子レンジ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、空気清浄機、デジタルスチルカメラ、ゲーム機、電子楽器、電子タバコ、ドローンなど
通 信	スマートフォン、FAX、ウェアラブル機器(医療機器を除く)など
自 動 車	エンジンコントロールユニット、エアバッグ、カーナビゲーション、カーオーディオ、ADAS関連など
産 機	医療機器/健康機器、計測器、工作機械、自販機、太陽光発電、スマートメーター、セキュリティ機器、通信インフラ、クラウドサーバーなど
事 務 機 ・ 電 算 機	PC、PCサーバー、タブレットPC、プリンタ、複写機、データストレージ(DVD、HDD、半導体メモリ)、モニタ、各種端末装置など

(注) 上記の売上高は外部顧客に対するものであります。

2. 関連情報

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

		22/3期実績	21/3期実績	対前年同期増減		21/3期実績	22/3期計画										
		第2四半期 累計期間	第2四半期 累計期間	額	率	通期	通期	対前期 増減率									
セグメント別設備投資額																	
L	S	I	百万円	8,160	4,934	+3,226	+65.4%	16,568	24,600	+48.5%							
半	導	体	素	子	百万円	14,517	4,346	+10,171	+234.0%	20,460	33,200	+62.3%					
モ	ジ	ュ	ー	ル	百万円	529	803	-274	-34.1%	2,893	2,900	+0.2%					
そ	の	他	百万円	1,429	668	+761	+113.8%	1,079	3,600	+233.4%							
販	売	・	管	理	等	共	通	部	門	百万円	2,641	1,176	+1,465	+124.6%	3,111	5,700	+83.2%
合	計	百万円	27,279	11,929	+15,350	+128.7%	44,114	70,000	+58.7%								
株	主	数	人	26,159	25,204	+955	+3.8%	26,781									
		金融機関持株比率	%	26.38	27.15	-0.77		26.38									
		外国人持株比率	%	46.16	42.04	+4.12		44.90									
グループ従業員数																	
		国内	人	6,005	5,877	+128	+2.2%	5,844									
		海外	人	17,031	16,284	+747	+4.6%	16,526									
		合計	人	23,036	22,161	+875	+3.9%	22,370									
		(うち研究開発人員)	(人)	(2,953)	(2,850)	(+103)	(+3.6%)	(2,868)									
連	結	子	会	社	数	社	39	42	-3	41							
		(国内)	(社)	(7)	(9)	(-2)		(8)									
		(海外)	(社)	(32)	(33)	(-1)		(33)									
関	連	会	社	数	社	3	3	0	3								
		(うち持分法適用会社数)	(社)	(0)	(0)	(0)		(0)									
非	連	結	子	会	社	数	社	2	1	+1							
		(うち持分法適用会社数)	(社)	(0)	(0)	(0)		(0)									



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月28日

上場会社名 ローム株式会社

上場取引所 東

コード番号 6963 URL <https://www.rohm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 CEO (氏名) 松本 功

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CSO 兼 経理本部長 (氏名) 伊野 和英

TEL 075-311-2121

四半期報告書提出予定日 2021年11月4日

配当支払開始予定日

2021年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	222,657	32.5	34,513	172.0	37,863	220.9	30,802	145.9
2021年3月期第2四半期	168,049	11.0	12,687	28.6	11,799	37.3	12,527	8.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 31,071百万円 (21.4%) 2021年3月期第2四半期 25,584百万円 (405.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	313.87	304.04
2021年3月期第2四半期	127.36	122.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	955,951	793,221	82.9
2021年3月期	926,240	769,490	83.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 792,729百万円 2021年3月期 768,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		75.00		75.00	150.00
2022年3月期		75.00			
2022年3月期(予想)				85.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	22.3	63,000	63.7	66,000	62.3	51,000	37.8	519.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	103,000,000 株	2021年3月期	103,000,000 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	4,861,242 株	2021年3月期	4,864,628 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	98,136,776 株	2021年3月期2Q	98,364,086 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11

※ 補足説明資料としまして、「2022年3月期 第2四半期決算概要」を別途添付しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

業績の全般的概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国や米国経済の回復、各国における新型コロナウイルス感染症のワクチン接種普及により、全体として回復に向かいました。ただし、新型コロナウイルス感染症変異株の影響でサプライチェーンの乱れが発生し、稼働制限等により生産停滞に陥るなど、世界経済は依然として減速リスクにさらされています。

エレクトロニクス業界におきましては、自動車関連市場は米国等の一部地域を中心に販売台数が増加したこと等により引き続き好調に推移しました。また、民生機器関連市場では、感染症対策としてのステイホームやテレワークなどライフスタイルの変化による需要が増加し、産業機器関連市場でも各国における経済対策などによる設備投資により回復傾向にある事などから、市場は全体として好調に推移しました。しかし、世界的な半導体不足が続いたことによる自動車生産の減産等、先行き不透明感が強く、楽観視できない事象が見受けられます。

このような経営環境の中、中長期的に成長が期待される産業機器関連市場や電動化へのシフトが期待される自動車関連市場などへの製品ラインアップの強化をロームグループが強みを持つ「パワー」、「アナログ」及び「汎用デバイス」の新製品・新技術の開発を中心に進め、ソリューションでの提案を強化、推進しました。

生産面においても、マトリクス型組織とすることにより、全社最適化を進めるとともに、「モノづくり改革」による省人化・自動化ラインの構築を推し進めました。また、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策の徹底や生産性向上、急増する受注に対応した生産能力増強を進めるなど、お客様への安定供給に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は自動車関連市場、民生機器関連市場及び産業機器関連市場を中心に増加し、前年同期比32.5%増の2,226億5千7百万円となりました。

営業利益は売上高の増加に加え、固定費負担率の低下などにより前年同期比172.0%増の345億1千3百万円となり、当第2四半期連結累計期間の営業利益率は前第2四半期連結累計期間の7.5%から15.5%に上昇しました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、為替差益が発生したことにより、前年同期比220.9%増の378億6千3百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比145.9%増の308億2百万円となりました。

またロームグループで重視している経営指標について、当第2四半期連結累計期間のEBITDA（※）は前年同期比66.7%増の534億3千2百万円となりました。

※ EBITDA (Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

税引前利益に支払利息、減価償却費を加えて求めたもの。グローバル企業などの収益力を比較する際によく利用される指標。ロームグループでは簡易的に営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

業績のセグメント別概況

<LSI>

市場別では、自動車関連市場につきましては、ADAS（先進運転支援システム）やボディ向けが全体として好調であったことに加え、電動車向けに絶縁ゲートドライバICなどが順調に売上を伸ばしました。産業機器関連市場につきましては、市況回復により全体として好調に推移しました。民生機器関連市場につきましては、市況の回復やテレワークの浸透により白物家電・PC向け等の各種ドライバICや電源ICなどを中心に全体として好調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は999億1千4百万円（前年同期比27.1%増）、セグメント利益は145億1千9百万円（前年同期比291.1%増）となりました。

<半導体素子>

事業セグメント別では、トランジスタ、ダイオード、パワーデバイスにつきましては、自動車関連市場や産業機器関連市場向けを中心に好調に推移しました。また、発光ダイオードにつきましては、産業機器関連市場向けや民生機器関連市場向けなどで売上が増加しました。半導体レーザーにつきましては、家電市場向けを中心に売上が増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は932億3千2百万円（前年同期比42.5%増）、セグメント利益は154億4千7百万円（前年同期比101.0%増）となりました。

<モジュール>

事業セグメント別では、プリントヘッドにつきましては、プリンタ向けなどで売上が増加しました。オプティカルモジュールにつきましては、スマートフォン向けなどでセンサモジュールの売上が減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は156億8千4百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は19億7千1百万円（前年同期比67.9%増）となりました。

<その他>

事業セグメント別では、抵抗器につきましては、自動車関連市場向けを中心に売上が増加しました。一方、タンタルコンデンサにつきましては、PC向けなどで売上が好調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は138億2千6百万円（前年同期比55.6%増）、セグメント利益は26億8千4百万円（前年同期比462.2%増）となりました。

上記「業績のセグメント別概況」の記載は、外部顧客に対するものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ297億1千1百万円増加し、9,559億5千1百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が213億9千2百万円、受取手形及び売掛金が103億8千7百万円、有形固定資産が67億3百万円、それぞれ増加した一方、有価証券が102億5千2百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ59億7千9百万円増加し、1,627億2千9百万円となりました。主な要因といたしましては、未払法人税等が30億9千9百万円、支払手形及び買掛金が18億4百万円、繰延税金負債が17億1千2百万円、流動負債のその他が15億9千6百万円（うち未払費用が16億1千3百万円）、それぞれ増加した一方、未払金が24億8百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ237億3千1百万円増加し、7,932億2千1百万円となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により株主資本が234億8千5百万円、その他有価証券評価差額金が22億9千8百万円、それぞれ増加した一方、為替換算調整勘定が24億8千万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.0%から82.9%に低下しました。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（128億7千2百万円のプラス）に比べ336億1千9百万円収入が増加し、464億9千2百万円のプラスとなりました。これは主に、プラス要因として税金等調整前四半期純利益の増加、棚卸資産の増加額が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（285億7千百万円のマイナス）に比べ23億2千9百万円支出が減少し、262億4千1百万円のマイナスとなりました。これは主に、プラス要因として定期預金が増加から減少に転じたこと、マイナス要因として有形固定資産の取得による支出の増加によるものであります。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（169億5千5百万円のマイナス）に比べ87億6千3百万円支出が減少し、81億9千2百万円のマイナスとなりました。これは主に、プラス要因として自己株式の取得による支出の減少によるものであります。

上記の要因に、換算差額による減少が10億1百万円加わり、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ110億5千7百万円増加し、2,732億2千5百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種普及等により回復傾向にありますが、感染症の再拡大が懸念されるなど、依然として不透明な状況が続くものと思われま。エレクトロニクス市場においては電子化のニーズの高まりやライフスタイルの変化等により、全体として好調に推移しておりますが、半導体の品不足解消時期など需給関係には引き続き注視する必要があると考えております。

このような状況の中、2022年3月期の売上及び利益は期初の想定を上回る見通しであるため、2022年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

<連結業績予想>

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比増減率
売 上 高	3,598 億円	4,400億円	+22.3%
営 業 利 益	384 億円	630億円	+63.7%
経 常 利 益	406 億円	660億円	+62.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	370 億円	510億円	+37.8%

<セグメント別連結売上高予想>

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比増減率
L S I	1,681 億円	1,988 億円	+18.3%
半 導 体 素 子	1,423 億円	1,839 億円	+29.2%
モ ジ ュ ー ル	292 億円	303 億円	+3.9%
そ の 他	201 億円	268 億円	+32.9%

下期の為替レートは、1米ドル=110円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,292	282,684
受取手形及び売掛金	86,287	96,674
電子記録債権	6,043	6,933
有価証券	58,138	47,886
商品及び製品	33,426	30,188
仕掛品	52,811	52,936
原材料及び貯蔵品	42,522	46,046
未収還付法人税等	4,013	1,332
その他	11,402	12,452
貸倒引当金	△115	△46
流動資産合計	555,823	577,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	263,766	267,564
機械装置及び運搬具	607,487	611,664
工具、器具及び備品	53,935	53,789
土地	66,601	66,186
建設仮勘定	21,691	29,421
その他	7,054	7,619
減価償却累計額	△773,168	△782,174
有形固定資産合計	247,367	254,070
無形固定資産		
のれん	1,093	944
その他	5,552	5,194
無形固定資産合計	6,645	6,138
投資その他の資産		
投資有価証券	95,749	97,764
退職給付に係る資産	3,010	3,377
繰延税金資産	8,156	8,960
その他	9,571	8,617
貸倒引当金	△83	△67
投資その他の資産合計	116,404	118,652
固定資産合計	370,417	378,861
資産合計	926,240	955,951

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,078	15,882
電子記録債務	3,834	4,009
未払金	23,778	21,370
未払法人税等	3,671	6,770
その他	28,016	29,612
流動負債合計	73,379	77,645
固定負債		
社債	40,735	40,635
繰延税金負債	28,149	29,861
退職給付に係る負債	11,198	11,379
その他	3,286	3,207
固定負債合計	83,370	85,083
負債合計	156,750	162,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,403	102,411
利益剰余金	609,280	632,722
自己株式	△39,947	△39,911
株主資本合計	758,706	782,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,001	49,299
為替換算調整勘定	△33,878	△36,358
退職給付に係る調整累計額	△2,856	△2,403
その他の包括利益累計額合計	10,266	10,537
非支配株主持分	518	492
純資産合計	769,490	793,221
負債純資産合計	926,240	955,951

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	168,049	222,657
売上原価	115,882	146,577
売上総利益	52,167	76,079
販売費及び一般管理費	39,479	41,566
営業利益	12,687	34,513
営業外収益		
受取利息	1,010	592
受取配当金	386	408
為替差益	-	2,066
その他	487	376
営業外収益合計	1,884	3,442
営業外費用		
支払利息	51	66
為替差損	2,669	-
その他	52	25
営業外費用合計	2,772	92
経常利益	11,799	37,863
特別利益		
固定資産売却益	65	422
投資有価証券売却益	-	359
補助金収入	-	100
特別利益合計	65	882
特別損失		
固定資産売却損	38	12
固定資産廃棄損	96	216
固定資産圧縮損	-	100
減損損失	47	33
投資有価証券評価損	139	-
特別損失合計	322	363
税金等調整前四半期純利益	11,542	38,382
法人税、住民税及び事業税	4,600	8,115
法人税等調整額	△5,598	△544
法人税等合計	△997	7,570
四半期純利益	12,539	30,812
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,527	30,802

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）
四半期純利益	12,539	30,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,276	2,297
為替換算調整勘定	△1,695	△2,491
退職給付に係る調整額	463	453
その他の包括利益合計	13,044	259
四半期包括利益	25,584	31,071
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,565	31,073
非支配株主に係る四半期包括利益	18	△1

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,542	38,382
減価償却費	19,360	18,918
減損損失	47	33
貸倒引当金の増減額（△は減少）	31	△84
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	182	596
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	261	△105
受取利息及び受取配当金	△1,396	△1,000
為替差損益（△は益）	446	△231
有価証券及び投資有価証券評価損益（△は益）	139	-
有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益）	-	△359
固定資産売却損益（△は益）	△27	△409
売上債権の増減額（△は増加）	△5,092	△10,969
棚卸資産の増減額（△は増加）	△8,569	△1,194
仕入債務の増減額（△は減少）	△769	1,630
未払金の増減額（△は減少）	△1,511	291
その他	2,147	2,234
小計	16,792	47,731
利息及び配当金の受取額	1,550	952
利息の支払額	△0	△5
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△4,861	△2,186
特別退職金の支払額	△608	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,872	46,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△13,083	2,782
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△5,596	△8,780
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	6,102	8,532
有形固定資産の取得による支出	△15,544	△28,374
有形固定資産の売却による収入	77	726
その他	△525	△1,127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,570	△26,241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△8,710	△5
配当金の支払額	△7,462	△7,360
その他	△782	△826
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,955	△8,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,431	△1,001
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△34,085	11,057
現金及び現金同等物の期首残高	275,539	262,168
現金及び現金同等物の四半期末残高	241,454	273,225

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、有償支給取引において、従来は有償支給した仕掛品等について消滅を認識しておりましたが、当該取引において買い戻す義務を負っていることから、有償支給した仕掛品等について消滅を認識しないことといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首から新たな会計方針を適用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

また、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売上高								
外部顧客への売上高	78,605	65,432	15,126	159,163	8,885	168,049	—	168,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	773	2,830	—	3,604	28	3,633	△3,633	—
計	79,378	68,263	15,126	162,768	8,914	171,682	△3,633	168,049
セグメント利益	3,712	7,683	1,174	12,570	477	13,047	△360	12,687

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△360百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△777百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）417百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売上高								
国内	38,327	27,568	3,214	69,110	2,231	71,342	—	71,342
アジア	53,959	52,235	10,668	116,863	9,133	125,996	—	125,996
アメリカ	3,974	4,667	552	9,194	1,165	10,359	—	10,359
ヨーロッパ	3,653	8,761	1,248	13,663	1,295	14,958	—	14,958
顧客との契約から 生じる収益	99,914	93,232	15,684	208,831	13,826	222,657	—	222,657
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	99,914	93,232	15,684	208,831	13,826	222,657	—	222,657
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,220	1,966	18	3,205	39	3,244	△3,244	—
計	101,135	95,199	15,702	212,037	13,865	225,902	△3,244	222,657
セグメント利益	14,519	15,447	1,971	31,938	2,684	34,622	△109	34,513

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△109百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△379百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）270百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。